

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2024/1/4現在

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	グローバルAIファンド・証券投資信託
組成会社（運用会社）	三井住友DSアセットマネジメント株式会社
販売委託元	三井住友DSアセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	この商品は、世界の上場株式の中から、AI（人工知能）の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	この商品は、主要投資対象や運用内容について十分な知識や投資経験を有する、あるいは説明を受け商品内容を理解していただける、中長期での資産形成を目的とする投資家のご投資を想定しております。この商品は、元本割れリスクを許容する投資家向けです。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- （質問）
- ① AI関連とは、具体的にはどのような業種を指していますか？
  - ② グローバルとは、具体的にはどのような国が主体となりますか？
  - ③ 為替ヘッジなし、とはどのようなことですか？

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じる リスクの内容	<株式市場リスク> 株価の下落は基準価額の下落要因となります。
	<信用リスク> 債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因となります。
	<為替変動リスク> 円高は基準価額の下落要因となります。
	<カントリーリスク> 投資国の政治・経済等の不安定化は基準価額の下落要因となります。
	<市場流動性リスク> 市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件下での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因となります。
過去1年間の収益率	5.9%（2023年10月末現在）
過去5年間の収益率	平均21.7% 最高137.1%（2021年3月）最低-35.6%（2022年12月） （2018年11月～2023年10月の各月末における直近1年間の数字）

※ 損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の7ページから9ページ、運用実績の詳細は交付目論見書の10ページから11ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- （質問）
- ④ 純資産額が増えてくると、リスクに影響はありますか？
  - ⑤ AIというコンセプトによる株価上昇は、長続きしないのではないのでしょうか？

### 3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

（税込）

購入時に支払う費用 （販売手数料など）	窓口購入	インターネット購入
	3.30%	2.31%
継続的に支払う費用 （信託報酬など）	信託報酬：年1.925%	
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	ありません。	

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の14ページに記載しています。

- （質問） ⑥ この商品の信託報酬料率は、平均的なものといえますか？  
⑦ やはり手数料率の低い商品が優れていますか？

### 4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

この商品の償還期限はありません。但し、期間更新や繰上償還の場合があります。

この商品をお客様が換金・解約しようとする場合、解約手数料・信託財産留保額ははありません。

証券取引所・外国為替取引の停止等により換金や解約ができないことがあります。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の14ページに記載しています。

- （質問） ⑧ 中途換金をした場合、何日目に資金を受け取れますか？

### 5. 当金庫の利益とおお客様の利益が反する可能性

当金庫がお客様がこの商品を販売した場合、当金庫は、お客様が支払う運用管理費用（信託報酬）のうち、組成会社等から年率0.88%の手数料を頂きます。これは各種書類の送付、口座管理、情報提供等の対価です。

当金庫は、この商品の組成会社等との間で出向等の人間関係および資本的関係がありません。

「重要情報シート」のフォーマットのとおり、当金庫の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品より高く評価されるようなことはありません。

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「顧客本位の業務運営に関する原則」の「取組方針」をご参照ください。

（URL）<https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- （質問） ⑨ 特定のファンド会社の商品ラインナップに偏っていることはありませんか？

## 6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

分配時、配当所得として普通分配金に対して20.315%、換金（解約）時および償還時は、譲渡所得として、換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%が課税されます。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の15ページに記載しています。

## 7. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前補完書面【目論見書補完書面】  
(URL①) <https://www.numashin.co.jp/kojin/unyo/files/mokuromisyo.pdf>  
※ PDF形式で掲載しています。

①



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】  
(URL②) <https://www.smd-am.co.jp/fund/175205/>  
※リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。  
当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。

②



**契約締結に当たっての注意事項等をまとめた契約締結前交付書面【目論見書交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡します。**



商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

<質問回答例>

グローバルAIファンド・証券投資信託

	<質問>	<回答例>
①	AI関連とは、具体的にはどのような業種を指していますか？	産業用ロボット・自動運転等の製造、セキュリティやフィンテックなどの技術提供など、幅広い業種を投資対象としています。
②	グローバルとは、具体的にはどのような国が主体となりますか？	運用方針に合致する優良企業の選定を進める結果、現在は米国が大半となっていますが、今後、中期的には変化していくことも考えられます。
③	為替ヘッジなし、とはどのようなことですか？	投資対象が海外の株式等であり、日本円ベースに評価したときには円高によって為替評価損が生じます。これを先物予約取引によって、一定範囲に限定させることを為替ヘッジあり、逆に行わないものをヘッジなし、といいます。
④	純資産額が増えてくると、リスクに影響はありますか？	純資産額が増えてくると、運用対象に広がりができることはメリットですが、一方で市場の下落局面で評価損失が生じる銘柄を抱えるリスクが増加する懸念はあります。
⑤	AIというコンセプトによる株価上昇は、長続きしないのではないのでしょうか？	株式銘柄に着目するコンセプトには、様々なものがありますが、それらの中でもAIは、今後長期間にわたっても、世界経済において重要なテーマであるとの認識のもと、本商品もラインナップに加えております。
⑥	この商品の信託報酬料率は、平均的なものといえますか？	信託報酬の年率1%以上の商品が多い中にある場合は、比較的低い料率といえます。中長期投資を行なううえでは、一つのメリットとはいえます。
⑦	やはり手数料率の低い商品が優れていますか？	商品の運用成果に対して、購入時手数料は一要素であること、また長期間保有していくことでその影響は小さくなることから、一概にはいえません。
⑧	中途換金をした場合、何日目に資金を受け取れますか？	本商品については、換金のお申込みを頂いた日を含めて、5営業日目に口座に入金されます。
⑨	特定のファンド会社の商品ラインナップに偏っていることはありませんか？	お客様に分かりやすく、運用成果の期待できる商品を選定する結果として、複数のファンド会社の商品が多くなっていますが、販売上も特別のインセンティブはなく、他商品同様の取り扱いを行なっています。